

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%

保護者様： 23名回答、回答率 64%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・物が最小限配置され使いやすくなっている。
- ・スタッフ全員が、その場に応じた対応して事故などを起こさないよう工夫している。安全で清潔に過ごせる様に日々点検を行っている。
- ・入室したらやること、順序を分かりやすく伝えるようにするための改善が必要。

○業務改善

- ・ミーティングを頻繁に行い情報の共有化に努めている。
- ・研修は個々に受けているが、個人が受けてきたものを他職員に伝えられると尚良い。

○適切な支援の提供

- ・放課後等デイサービス計画を見て児童のそれぞれの課題を把握したうえで支援を行っている。
- ・活動テーマを各職員が企画し、チームで調整して計画している。
- ・活動や日々の支援の中で、職員が決めるのではなく子どもたち自身が選択できるようにしている。例えば活動では、児童が好きな色や形を選べるようになるべく選択肢を広げるようにしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校とは送迎時に児童の様子も含めて、情報を共有しており常に良好な関係を保っている。
- ・その日あった児童の様子を保護者に丁寧に伝えるようにしている。特に課題についてできたことやできなかったことを伝えて保護者の方と共有できるように心掛けている。固定した人ではなく、様々なスタッフが対応している。

○保護者への説明責任等

- ・保護者からの個々の相談に対し、必要な助言を行っているが、特に話しやすい環境づくりを心掛けている。頻繁に、保護者参加型の活動を実施しておりその中に兄弟の参加も歓迎し利用されている。
- ・ブログでは見ただけで活動の様子や楽しさが伝わるようなものを作るようにしている。

○非常時等の対応

- ・毎月避難訓練を行い、児童にも避難方法や避難経路を覚えて貰っている。
- ・法令に基づき避難訓練を実施しているが、保護者も含めた避難手順の確認は課題となっている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・「職員の配置数は適切であると思いますか。」という質問に対して、8割以上の方から「はい」とご回答を頂いた。
- ・発達支援室のスペースについては、「大丈夫だと思います。」とのご回答を頂いた。

○適切な支援の提供

- ・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。」という質問に対して全員の方から「はい」とご回答を頂いた。
- ・事業所の活動プログラムについて、「プログラム内容が毎回工夫されていると思います。」とのご回答を頂いた。今後も児童に楽しんで頂く為かつ様々な力が身につく様に、スタッフ全員で活動プログラム企画に取り組んでいく。

○保護者への説明等

- ・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。」や「事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか」という質問に対して8割～9割以上の方から「はい」とご回答を頂いた。
- ・保護者会や保護者同士の交流について、「定期的に他の保護者さんとの交流があれば嬉しいです。」とのご回答を頂いた。

○非常時等の対応

- ・「事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか」という質問に対して9割の方から「はい」とご回答を頂いた。

○満足度

- ・事業所の支援について、「親だけだとどうしても難しいことも、スマートで経験させてもらえて感謝しております。スタッフの方皆さんが子供に愛情と誠意を持って接してくださっているのが日々伝わってきますので、安心して通わせています。」や「いつも温かく見守って下さり、指導員の皆様に感謝しております。ありがとうございます。」とのご回答を頂いた。また、「外活動がもっとあると良い」とのご回答も頂いた。今後も、児童に安心して楽しく通って頂けるように、1人1人に合わせた丁寧な支援を行い、保護者や必要関係機関と連携を取りながら対応していく。また、ご意見を頂いた課外活動も少しずつ増やしていく。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・療育参観や保護者会の内容や開催方法を再検討したり、保護者会等の様子をニュースレターやブログで紹介したりする。
- ・非常時の対応を、今年度よりも細かくまとめてお手紙で保護者に周知する。
- ・避難訓練時の様子を、連絡帳や送迎時、ニュースレター等を活用し積極的に伝える。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・土曜日祝日に保護者参加型の療育(フロアホッケー)を継続的に行い、保護者参加数が増えてきた。ただ、保護者会の参加率は低い。
- ・非常時の対応や避難訓練の様子はお手紙等であまりお知らせ出来なかった為、来年度は積極的に取り組んでいきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子供の事を理解しニーズや課題を分析した支援計画を作成し、その支援計画に沿った支援が出来る。
- ・送迎時や連絡帳で丁寧な共有を心掛け、定期的に相談に対して助言を行っている為、事業所の支援や安心感に対する満足度が高い。

○改善点

- ・毎月避難訓練を行い、避難経路や対応についても周知しているが、「事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。」という質問に対して、2割の方が「分からない」だった。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・療育参観、保護者会等を引き続き開催し、保護者参加率を増やす。
- ・気軽に保護者同士の連携が出来る場を作り、保護者同士の交流を深めて貰う。
- ・非常災害時や事故の対応について保護者が見やすい方法で再周知し、9割以上の保護者に理解して貰う。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者が参加しやすい療育参観の内容や日時を検討していく。
- ・保護者会ではこちらが説明するだけでなく、保護者交流の時間を作る。
- ・丁寧に保護者とコミュニケーションを図り、同じような支援の悩みを持っているご家庭が集まり情報共有出来る様な場を作る。
- ・支援の悩みに沿った情報や支援方法等をまとめた資料を作成し配布を行う。
- ・非常災害時や避難訓練について、改めて簡潔にまとめた災害時の対応についての手紙を作成し、全利用者に配布する。